



「ふたば」

令和7年度 特別号

(令和8年2月4日)

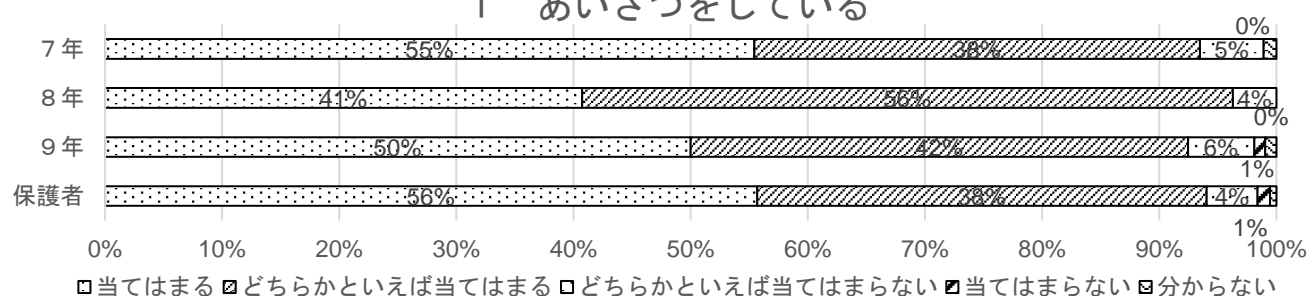
「夢がつながる 学びのエリア」 板橋五小・板橋十小・板橋二中 めざす子ども像

校長 柳澤 忠男

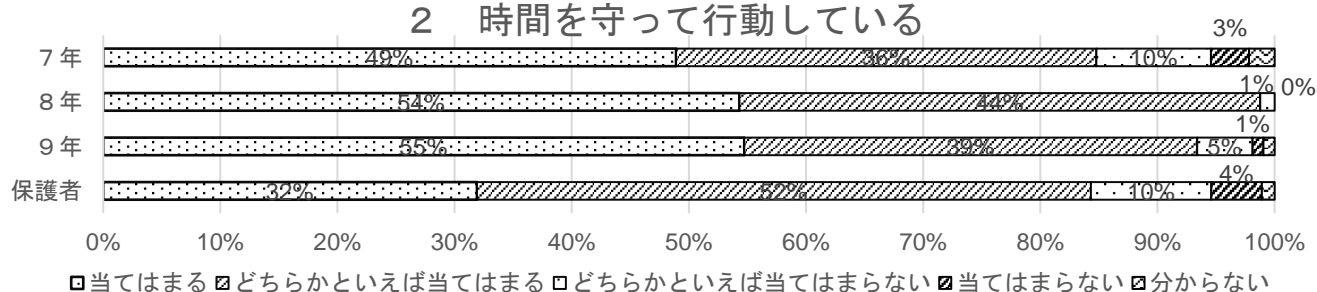
「自ら考えて発信し、心身ともに健康で他者と思いやりの心をもって接することができる子」

学校評価保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。回答率は56%でした。生徒へのアンケート結果と併せてご報告いたします。この結果を今後の教育活動の改善に生かしてまいります。

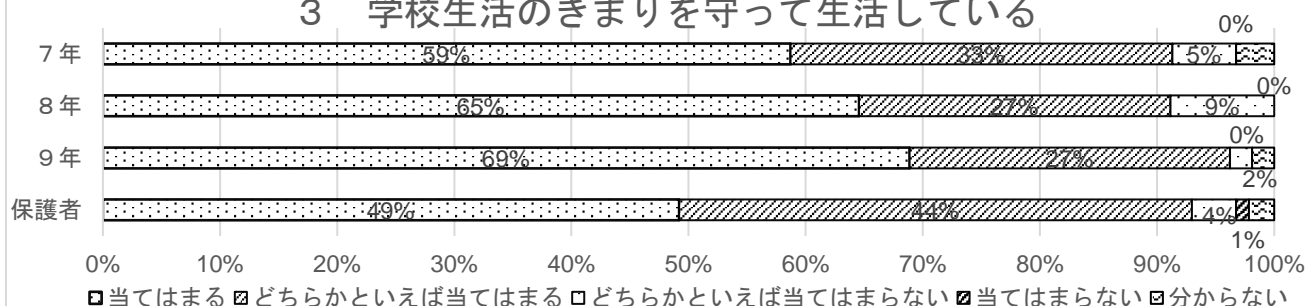
1 あいさつをしている



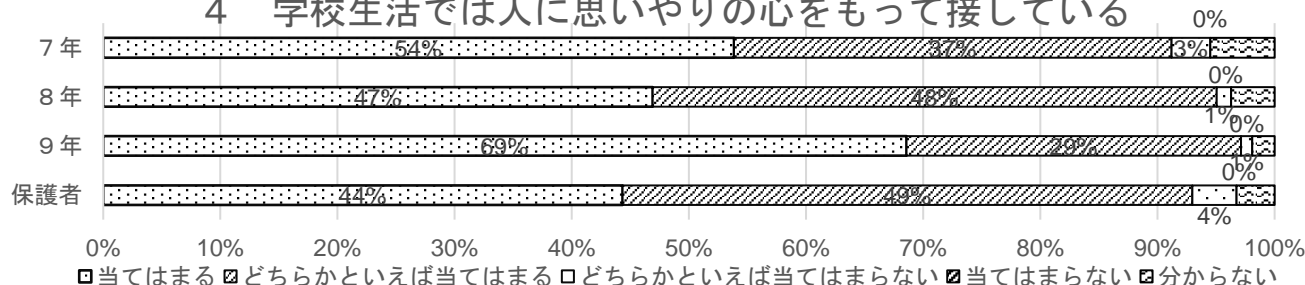
2 時間を守って行動している



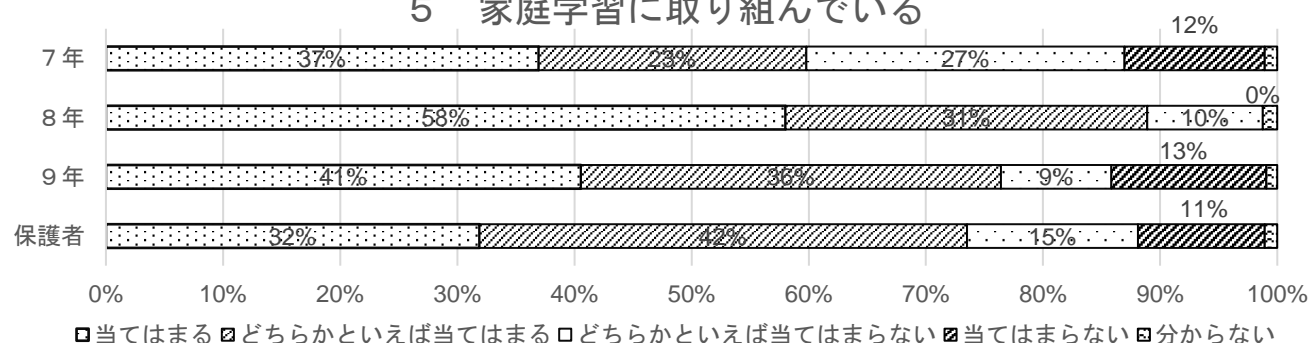
3 学校生活のきまりを守って生活している



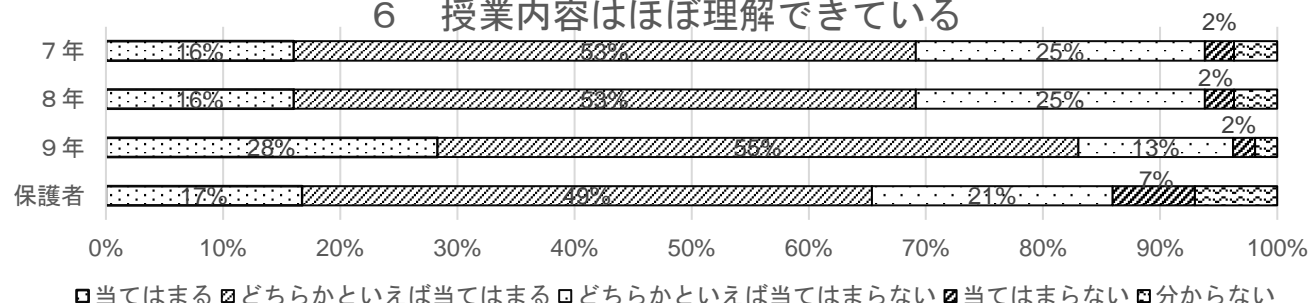
4 学校生活では人に思いやりの心をもって接している



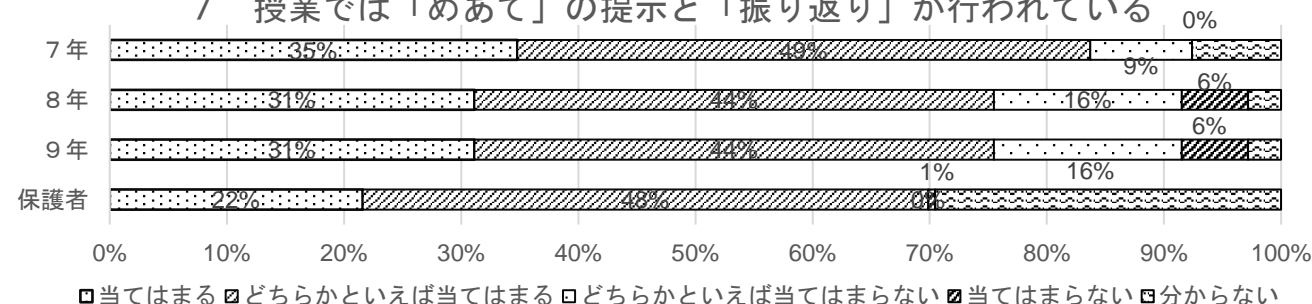
5 家庭学習に取り組んでいる



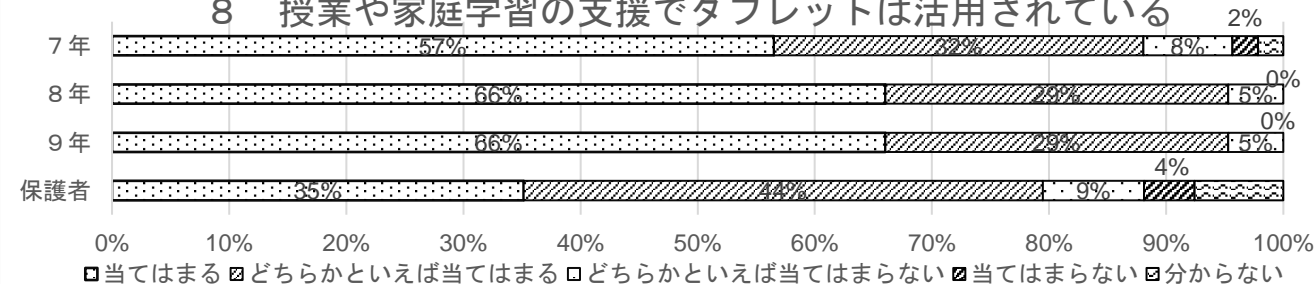
6 授業内容はほぼ理解できている



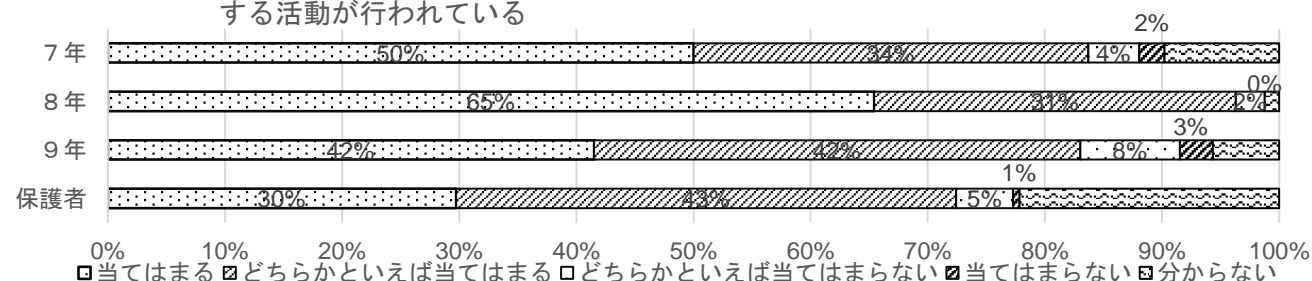
7 授業では「めあて」の提示と「振り返り」が行われている



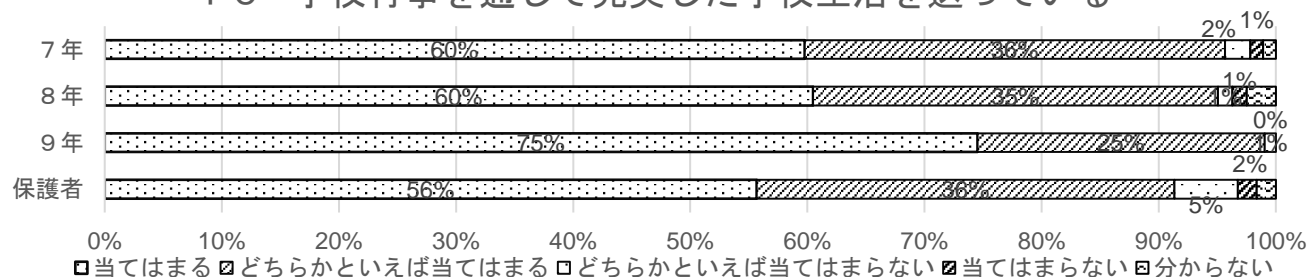
8 授業や家庭学習の支援でタブレットは活用されている



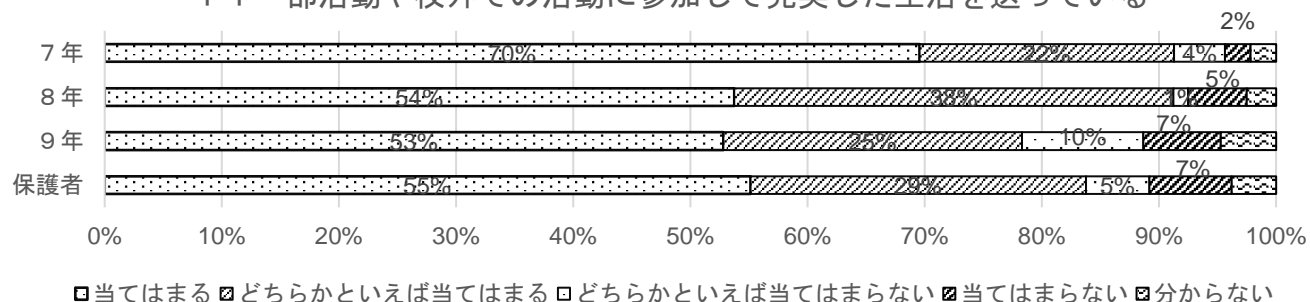
9 総合的な学習の時間では、自分で課題を見付けたて調べたり、発表したりする活動が行われている



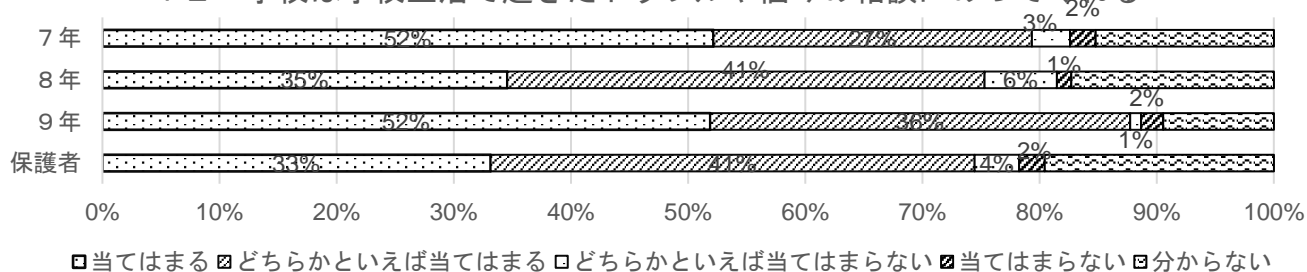
10 学校行事を通して充実した学校生活を送っている



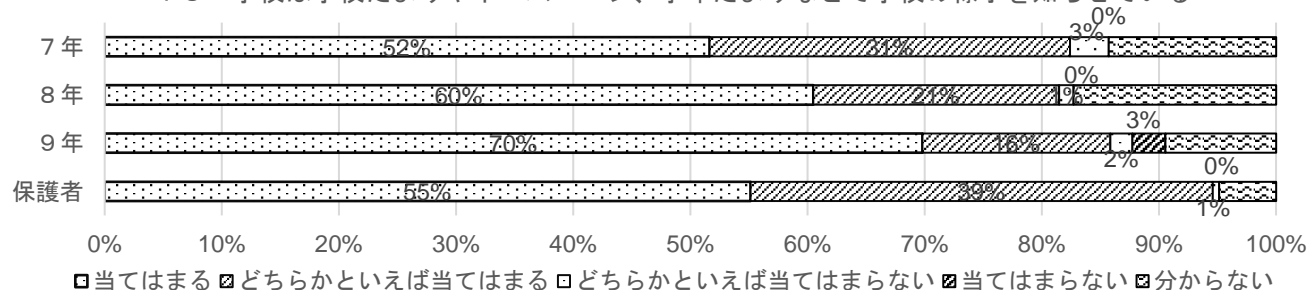
11 部活動や校外での活動に参加して充実した生活を送っている



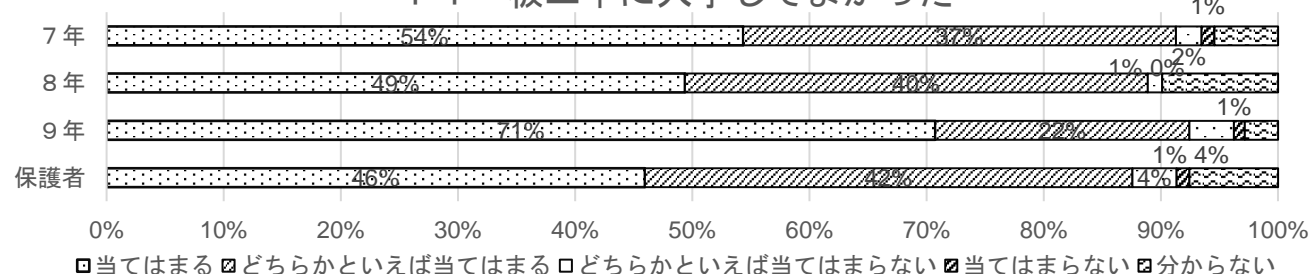
12 学校は学校生活で起きたトラブルや悩みの相談にのってくれる



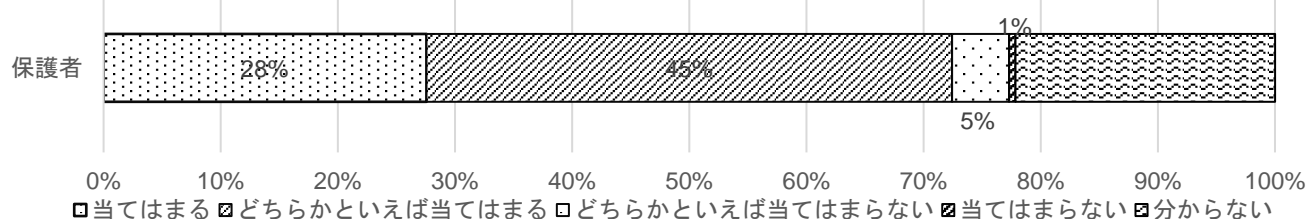
13 学校は学校だよりやホームページ、学年だよりなどで学校の様子を知らせている



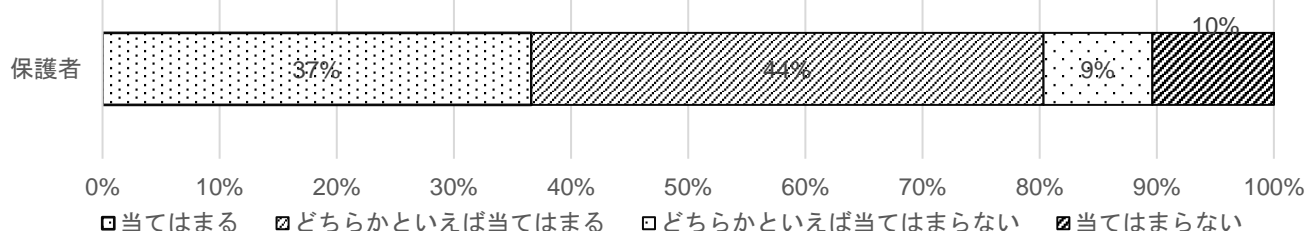
14 板二中に入学してよかった



15 学校は地域の人材を活用するなど、地域や保護者と連携した教育活動を行っている



16 学校がコミュニティ・スクールになっていることを知っている



<考察>

主に「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせた肯定的な回答の割合をもとに分析を行いました。

「あいさつ」や「学校のきまり」、「人に思いやりの心をもった接し方」については各学年の生徒、保護者とも90%以上が肯定的な回答をしており、「時間を守った生活」についても8、9年生で90%以上の生徒が意識して生活できています。学習については「家庭学習」について、8、9年生と保護者で昨年度よりも肯定的な回答の割合が上がっていますが、7年生は家庭学習ノートの取組をしているにもかかわらず60%と取組が低調です。「授業内容がほぼ理解できている」については、保護者の28%が否定的に回答していて、7、8年生も27%の生徒が否定的に回答しています。8年生では学習内容が難しくなるためか割合が下がるのは毎年の傾向ですが、7年生の割合が低いのが気になります。「めあて」の提示と「振り返り」の実施については他学年よりも実施されていると答えている生徒が多くいますので、家庭学習を行うことで授業の理解度も上がるのではないかと考えます。「タブレットの活用」については8、9年生で昨年度よりも肯定的回答が増え95%となっています。

「学校行事を通した学校生活の充実」については、2学期に文化発表会の合唱の取組があったためか生徒の肯定的な回答の割合は95%以上と高くなっています。保護者の方にも見ていただいたため、保護者の方の評価も90%を超えています。また、「部活動や校外での活動」による放課後や休日の生活の充実度については、7、8年生で90%以上が肯定的な回答をしています。9年生は部活動から離れていることもあり低くなっています。「悩みの相談」については9年生で90%近くが肯定的に答えており、相談に対して適切に対応できたかと思いますが、7、8年生では「分からない」が15%程度あり、相談した経験がまだないように思われます。引き続き相談しやすい体制づくりに努めていきます。「学校だよりやホームページ、学年だよりなどでの発信」については95%の保護者の方が肯定的な回答をされています。生徒も80%以上が肯定的に答えていますが、7、8年生で「分からない」が14%、17%と多く、学年だよりなどを読んでいないのではないかと考えられます。「板二中に入学しての満足度」ではどの学年の生徒も90%前後と昨年度よりも高くなりました。保護者も昨年度より肯定的な回答の割合が上がっています。様々な取組を充実させて生徒たちに誇りをもたせ、さらに満足度の高い学校を目指していきます。

保護者のみの質問項目である「地域や保護者と連携した教育活動」については「分からない」という回答が引き続き22%と高いながら、肯定的な回答が77%と昨年度より10ポイント程度上がりました。7年生の「職業人の話を聞く会」など地域の人材を生かした教育活動の実施について、さらに情報を発信していきたいと思えます。また、「コミュニティ・スクールの認知度」についても肯定的回答が80%となりました。引き続きコミュニティ・スクールのよさや協議した内容の教育活動への実現状況等をホームページや学校だよりで伝えてまいります。